

令和3年度 講座実施報告書

概要

講座の名称	災害時のトイレは命にかかわる～地域防災に女性の視点を～（佐久市共催）			
講座の目的	近年は、地震や台風による洪水など自然災害が多発し、地域防災は身近なテーマとなっている。その中でも、災害時の避難所や自宅避難での生活において災害関連死や性被害を防ぐための対策としてトイレ環境の整備は重要な課題である。避難所の設営や避難所生活において、また自宅避難をするうえで、トイレ環境の整備についてはどのような点に気を付ける必要があるのかを、男女共同参画の視点も含めて学ぶ。			
募集対象	県内在住・在勤・在学の方			
定員人数	オンライン（Zoom）参加	30名	佐久市会場 参加	50名
申込人数	オンライン（Zoom）参加	32接続	佐久市会場 参加	26名
当日参加人数	オンライン（Zoom）参加	31接続	佐久市会場 参加	26名
申込方法	オンライン：電子メール、佐久市会場：電話、FAX、電子メール			
託児	（設定なし）			
回数	1回			
開催場所	オンライン（Zoom）、佐久市市民創錬センター（佐久市猿久保）			
開催内容	日時	内容	講師	
	7月1日（木） 13:30～15:00	講義 災害時のトイレは命にかかわる ～地域防災に女性の視点を～	加藤 篤 さん NPO 法人 日本トイレ研究所代表理事	
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に水や食料よりも真っ先に必要になるのがトイレ。 ・発災「トイレが嫌」→飲まない・食べない→体調崩し、命にかかわる。 ・携帯トイレの必要性。用意する側、使う側とも訓練必要。 ・避難所トイレの設置にジェンダーの視点は欠かせない。あらゆる人にとって使いやすいトイレの確保・管理。 			
参加者の声	<p>○実際の災害時のトイレの様子を見せていただき、思っていたよりもひどく、平時から備えておかなければならないなと強く思いました。</p> <p>○災害時にできる事は「いつもやっていること」このワードは防災に携わる者にとって重要だと思いました。</p> <p>○仮設トイレの設置場所についても事前に決めておきたいと思います。</p> <p>○災害は人ごとの様に思っていますが、いつ自分の身に降りかかるかもしれません。トイレについて改めて考えさせられました。</p>			



<広報チラシ>



<加藤講師（リモート）>



<佐久市会場>